

管理運営評価シート(令和6年度)

施設名称	むらかみ病児保育センター	評価対象年度	令和 6 年度
指定管理者名	学校法人北都健勝学園・社会福祉法人真心福祉会共同事業体 代表法人 学校法人北都健勝学園	所管課	こども 課
指定期間	令和2年12月1日～令和7年3月31日(4年4ヶ月間)	評価者(課長)	高橋 朗

1 令和6年度の実績

(1)事業実績

利用実績	〈定員 6人〉 利用者登録数 254人 総利用者数 560人(隔離室利用数 211人)
サービス向上の取組	研修会の実施およびインシデント防止のための意見交換等を定期的に行い、サービスの向上に努めた。また、両法人の強みを活かして専門職の不足なく利用者の要望に対応した。

(2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (R4年度)	前年度 (R5年度)	当該年度 (R6年度)	合計	備考		
収入	指定管理料	15,263	15,806	16,123	47,192	基本協定額:	67,288	千円
	利用料金	0	0	0	0			
	事業収入	0	0	0	0			
	自主事業収入	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	収入合計 ①	15,263	15,806	16,123	47,192			
支出	人件費	10,380	11,350	11,122	32,852			
	福利厚生費	64	62	229	355			
	事務費	0	0	0	0			
	管理費	1,601	2,114	2,448	6,163			
	水道光熱費	245	410	794	1,449			
	修繕料	0	47	0	47			
	使用料・リース料	164	179	191	534			
	手数料・保険料	295	505	408	1,208			
	委託料	897	973	1,055	2,925			
	事業費	357	491	429	1,277			
	自主事業経費	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	支出合計 ②	12,402	14,017	14,228	40,647			
収支差額(①-②)		2,861	1,789	1,895	6,545			

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考(所管評価) (◎、△、×のときは評価内容、その他 特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	△	△	市内における専門職者の不足から、市外(近隣市町村)からの専門職者を採用
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある ー:該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1)	指定管理業務実施上の課題
	①利用定数6名に対して隔離の必要な複数の病名の病児や0歳児、1歳児の利用が集中する場合、現状のスタッフだけでは休憩時間の確保等が難しい場合もある。 ②一時預かりの施設であることから、急性期から慢性期の病状で年齢層も広く、個々に合わせた保育を保持するためには臨機応変に対応できるよう職員の資質向上が必要である。
(2)	課題解決に向けた取組
	①あらかわ病児保育センターとの情報共有を密にし、あらかわ病児保育センターの職員との応援・法人内の看護師等と体制を整え専門職スタッフが不足することなく、休憩時間を確保しつつ運営を行った。 ②職員の資質向上のためセンター内の人材育成マニュアルを活用すると共に、研修会等で各職員の資質向上に努めた。
(3)	その他
	①利用者からの主な意見や苦情、対応策 思いがけず完治しない時、改めて利用連絡票を貰いに行くのが時間と労力がかかり大変である。 →病状等について変化がある場合もあるので、村上市ルールに従って利用をお願いしたい。 Web受付、ネット予約ができるようにしてほしい。 →受入の際は、病名、隔離の有無、病状、年齢等の詳細を確認した上で、受け入れる必要があるため難しい。
	②その他

4 全体的な評価

(1)	指定管理者の評価
	毎年アンケートを実施し、利用者の意見を集めている。改善できるものは迅速に対応しているが、センター内で調理食事提供や定員増の要望に関しては施設設備と施設基準があるため対応はできない。
(2)	施設所管課の評価
	あらかわ病児保育センターと普段から情報共有や連絡を密にしたことにより、緊急時の人員不足や欠員の発生時に応援調整できたこと、保護者との連携を密にしたことにより、病児の状況や病態を把握し、信頼関係を築けたことから、適正に運営・管理されていると考える。
(3)	次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)